

編集後記

本号をお読みいただきありがとうございます。膝蓋骨不安定症を人類史から考えるとどうなるのでしょうか。「250 万年前、アフリカの大地溝帯 HiR (highly radiogenic) で突然変異・進化したホモ属 *genus Homo* は骨盤を横に張り出し内臓を支え、前進するために大腿骨を前捻・内旋、脛骨を外旋させ、やや外反した alignment の膝関節を形成します。一方、膝関節伸展時に前十字靱帯や腸脛靱帯によって膝関節に screw-home movement を招来させ膝関節 0° 完全伸展位での保持機能を獲得します。これは大腿四頭筋の筋疲労を最小限にした二足直立機能の獲得を意味します。これによって 200 万年前、危険なサバンナを長時間歩いてヨーロッパ、そしてアジア、氷河を越えてアメリカへと生活圏を拡大するのです。一方、以上の変化による膝蓋骨の外側への牽引ベクトルの増加に対して大腿骨外側顆を大きく高くすることで膝蓋骨脱臼を制御しようとしませんが、膝関節 30° 屈曲位から伸展時には骨性に膝蓋骨を制御するものではなく、内側膝蓋大腿靱帯を中心とする膝蓋骨内側支持機構を頼りにするほかありませんでした。ホモ属は 25 万年前、東アフリカで“賢いヒト”を冠するホモ・サピエンス *Homo sapiens* に分岐・進化しますが、この呪縛から逃れることはできませんでした。」—このような仮説を立てますと、膝蓋骨不安定症は直立歩行と引き換えに人類に与えられた 1 つの試練なのかもしれません。

本号では、本症の病態を解明し、この試練を果敢に克服しようとする研究者・臨床医の叡智と努力が散りばめられています。皆様には本誌を熟読玩味していただき、本症に対するさらなる医学・医療の発展に今後ともお力添えをいただきますよう心よりお願い申し上げます。

(内尾祐司)

令和 5 年 7 月 19 日発行

関節外科—基礎と臨床— Journal of Joint Surgery Vol.42 No.7

発行：年 14 回（年 12 回発行+増刊号 2 回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一

編集主幹 帖佐悦男

編集委員 山崎正志／田中康仁／岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／高平尚伸／岡崎 賢／國吉一樹

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

- ・ 本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。
- ・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・ 本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541